



平成17年10月4日

各 位

会社名 株式会社 パル
代表者名 代表取締役社長
井上英隆
(コード番号2726 東証第2部)
問合せ先 取締役管理本部長
有光靖治
(TEL. 06 - 6227 - 0308)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年4月15日の決算発表時に公表した平成18年2月期(平成17年3月1日～平成18年2月28日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成18年2月期中間業績予想数値の修正(平成17年3月1日～平成17年8月31日)
(単位:百万円、%)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|
| 前回発表予想(A) | 13,900 | 820 | 420 |
| 今回修正予想(B) | 16,156 | 1,772 | 761 |
| 増減額(B-A) | 2,256 | 952 | 341 |
| 増減率(%) | 16.2 | 116.1 | 81.2 |
| (ご参考) 前期実績(平成17年2月期) | 12,636 | 289 | 100 |

2. 平成18年2月期中間連結業績予想数値の修正(平成17年3月1日～平成17年8月31日)
(単位:百万円、%)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|
| 前回発表予想(A) | 15,500 | 1,100 | 630 |
| 今回修正予想(B) | 18,337 | 2,265 | 1,157 |
| 増減額(B-A) | 2,837 | 1,165 | 527 |
| 増減率(%) | 18.3 | 105.9 | 83.7 |
| (ご参考) 前期実績(平成17年2月期) | 13,896 | 547 | 322 |

3. 平成18年2月期通期業績予想数値の修正（平成17年3月1日～平成18年2月28日）
（単位：百万円、％）

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|
| 前回発表予想(A) | 28,800 | 2,100 | 1,050 |
| 今回修正予想(B) | 31,500 | 3,050 | 1,650 |
| 増減額(B-A) | 2,700 | 950 | 600 |
| 増減率(%) | 9.4 | 45.2 | 57.1 |
| (ご参考) 前期実績(平成17年2月期) | 27,261 | 1,331 | 596 |

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 218円50銭

4. 平成18年2月期連結業績予想数値の修正（平成17年3月1日～平成18年2月28日）
（単位：百万円、％）

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------------------|--------|-------|-------|
| 前回発表予想(A) | 32,000 | 2,800 | 1,750 |
| 今回修正予想(B) | 40,000 | 4,150 | 2,400 |
| 増減額(B-A) | 8,000 | 1,350 | 650 |
| 増減率(%) | 25.0 | 48.2 | 37.1 |
| (ご参考) 前期実績(平成17年2月期) | 30,514 | 2,028 | 1,193 |

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 317円82銭

5. 修正の理由

平成17年8月中間期の当企業集団の業績は、期初予想比で売上高18.3%、経常利益105.9%、当期純利益83.6%それぞれ上回る見込みとなりました。この要因としましては、昨年度下半期から回復基調にあった「チャオパニック」やフレンチカジュアル業態等が、今期に入ってさらに復調ペースを上げていること、前期好調であった「ガリヤルダガランテ」「DOUDOU」「barak」や雑貨業態等の引き続きの伸長に加え、ユーズド業態・アウトレット業態の大幅な増収など総じて好調に推移したことから、既存店ベースで前年同期間比110%以上となるなど売上が好調であったことに加え、各店舗シフトにまで踏み込んだ人件費管理、企画スタッフへの若手の積極登用による活性化など人事政策・経費管理をきめ細かく行ったことで利益率の向上が図ることが出来たことによります。

平成18年2月期通期業績見通しにつきましては、株式会社ナイスクラブの連結子会社化に伴う影響（売上高4,000百万円、経常利益200百万円）が加わることに加え、中間期業績を鑑み、期初予想比売上高25.0%、経常利益48.2%、当期純利益37.1%それぞれ増額修正いたします。

なお、今回通期業績見通しを修正いたしますことを受け、株主様の日頃のご支援に報いるため、株主の所有普通株式を1株につき1.2株の割合をもって無償分割することを、平成17年10月4日開催の臨時取締役会において決議いたしましたので、あわせてご報告いたします。

以上